登録コード	SD404200	開講年度	2026

授業題目	科学英語Ⅰ					担当教員	齋藤　武士
英文授業名	Scientific English I					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜･２時限	対象学年	2年
講義室	理学部第11講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	必修
信大コンピテンシー	非該当						

(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	【授業の達成目標】
	２６Ｓカリ，２５Ｓカリ，２４Ｓカリ，２３Ｓカリ		
	【2023年度以降ｶﾘｷｭﾗﾑ対象】理学の各分野における専門知識	⇔	・地球科学に関する基礎的な英文を素早く読んで理解できるようになる．
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災		
(3)全学横断特別教育プログラム			
(4)授業の概要	事前に指定した英文を和訳し，その内容について解説する。多くの英語を手早く読んで，その内容を的確に把握することを繰り返すことで，科学的な英文の読解力を養うと同時に，地球科学の基本的な考え方について理解する。		
(5)授業のキーワード	科学リテラシー，言語能力		
(6)授業計画	第1週　ガイダンス，preface 第2週　The Earth System (1) 第3週　The Earth System (2) 第4週　The Earth System (3) 第5週　Plate Tectonics (1) 第6週　Plate Tectonics (2) 第7週　Plate Tectonics (3) 第8週　Earth Materials (1) 第9週　中間試験，Earth Materials (2) 第10週　Earth Materials (3) 第11週　Earthquakes (1) 第12週　Earthquakes (2) 第13週　Earthquakes (3) 第14週　The Human Impact on Earth's Environment(1) 第15週　The Human Impact on Earth's Environment(2) 授業アンケート		
(7)成績評価の方法	中間試験(40点)と期末試験(60点)の成績で評価する。		
(8)成績評価の基準	中間試験と期末試験の合計点が9割以上であれば，授業の達成目標の水準から見て「卓越している」(S)，8割以上であれば「かなり上にある」(A)，7割以上であれば「やや上にある」(B)，6割以上であれば「その水準にある」(C)，それ以下を「水準に達していない」(D)とする。		
(9)事前事後学習の内容	講義で扱う個所について必ず予習（事前に英文を読む）・復習（間違えていた個所について再度読み，正しい内容を理解する）を行うこと。		
(10)履修上の注意	自分の担当個所以外についても取り組むこと。 教科書についてはコピーを配布するので購入する必要はない。		
(11)質問,相談への対応	講義終了後にその場でコンタクトすること。 それ以外は，研究室(理学部C棟406室)で対応できるときにはいつでも対応する。		
【教科書】	Grotzinger and Jordan, Understanding Earth. 7th edition. 2014. W. H. Freeman.		
【参考書】	特になし		